



KDDI株式会社

所在地：
東京都千代田区

URL：
<http://www.kddi.com/>

主な事業：
電気通信事業

KDDI株式会社

「SkyVisualEditorで開発コストは1/3！」 スクラッチ開発の3倍超の効率で 情報提供ポータルを再構築

KDDIは、お客様向け情報提供ポータルサイトを再構築するにあたり、現行システム以上のユーザーインターフェースを実現しつつ大幅な開発コスト削減を実現するために、SkyVisualEditorを採用してシステム再構築を成功させた。その事例を紹介する。

グローバル事業本部
グローバル経営管理部
4グループチームリーダー
マネージャー

高橋 昭彦 氏



KDDIのグローバル事業本部は、情報システム基盤の一つとしてSalesforceを採用している。

その中で、既存のお客様向け情報提供ポータルの更改時期が来たため再構築の検討を行っていた。再構築に当たっては現行システムのユーザーインターフェースの更なる改善も要望が上がっていたが、現行システムはスクラッチ開発で、現状維持の再構築でも予想以上の開発費が見込まれ、新たな開発手法を模索していた。そこで目を付けたのがSalesforce上への再構築である。

Salesforceの開発効率は元々良いことは認識していたが、現行システムのユーザーインターフェースはかなり複雑であり、SalesforceにおいてもVisualforceによる画面開発が必要なことは明白であった。VisualForceによるスクラッチの画面開発では期待するほど大幅な開発費を削減できず、開発後の軽微画面改修でもシステム開発会社に委託する必要があるため、保守効率もあまり上がらない状況であった。

その解決策として、たどり着いたのがSkyVisualEditorである。

メンテナンス性、視認性にすぐれたSkyVisualEditorで 200画面を開発、運用

SkyVisualEditorを利用しはじめた当初は、これまでのスクラッチ開発と同じように「画面数をやたらに増やすのは開発工数増加につながるのでは」との懸念から、1つの画面内で、利用者の役割情報に基づく入力項目の制御を行い、出来るだけ画面数を減らした方が得策であると考えていた。このため、とて

も複雑な画面制御になってしまい、かえって開発保守性が落ちていることが判明した。

SkyVisualEditorは、画面全体のプログラム一貫性を維持しつつ、容易に別画面をコピーして作成することが出来るため、目的別に画面を分離する方が開発効率がよいとの結論に達した。

当初予定では100画面程度と想定していたものが、目的別に分割する方針変更に伴い、およそ倍の画面数となったが当初見込みの工数および期間で開発を完了することができた。

このように進めたポータルサイトの初期開発は、検討開始から約10か月で完成し、その後運用しながら機能追加を行っている。お客様の要望に応じて作成した画面数は200を超える。このポータルサイトを管理運営するチームリーダーの高橋氏は以下のように述べた。

「保守の面では、通常なら開発パートナーに依頼して1か月くらいかかるところを、簡単なものなら社内で内製して一週間も待たずに出来てしまう。軽微な修正の場合には、予算を通すのが難しく手を付けなかったようなものも、内製で対応できるため、細かい修正にも臨機応変に対応できます。SkyVisualEditorがあれば、設計書を書いて指示を出すより、自分で画面を作っちゃった方が早いですね。」

Salesforce+SkyVisualEditorで 3倍以上の開発効率、 バージョンアップで進化を続ける

KDDIのグローバル事業では、世界中のお客様や拠点利用者を相手にすることから、WebやクラウドによるIT基盤をベースとし、「作る」から「使う」という基本方針を数年前より掲げ、整備を行ってきた。この方針は、グローバルビジネスの変化のスピードに追従できる情報システム基盤を想定してだが、Salesforce+SkyVisualEditorの組み合わせは、この方針をまさに具現化できている。

今後も、お客様および社内向けの各種業務支援機能の構築に、積極的にSkyVisualEditorを使っていきたいと語る高橋氏は、最後にSkyVisualEditorのバージョンアップについて語った。

「SkyVisualEditorのバージョンアップのタイミングでは、だいぶ我々の要望を聞いてもらいました。特に前回のバージョンアップで追加になった『バージョン管理機能』は、待ち望んでいた機能でした。システム開発会社と内製での共同作業で開発を進めているので、バージョン管理によって、非常にすっきりと管理ができるようになりました。これからの進化にも期待しています。」

SkyVisualEditorで
開発した
画面イメージ

設備予約画面。設備ごとに予約状況を30分単位で確認でき、画面遷移せずに詳細の確認や管理者による承認が可能。

予約状況 戻る

0000ビル

予約設備	貸出用△△△△	予約開始時刻	00:00	設備数	1
予約日	2016/05/25	予約終了時刻	24:00	しきい値*	1

残数

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	
00-30	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	1	1	0	0	1	1	1	1	1
30-60	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	1	1	1	0	0	1	1	0	0	1	1	1	1	1

1/1 100 件数:3

	予約時間	予約数	予約状態	申請会社	申請者名	入館申請
詳細表示	PRI-000001937	09:00 - 10:00	1	確定	社内申請	KDDI 太郎
詳細表示	PRI-000001988	13:30 - 15:30	1	確定	社内申請	KDDI 太郎
詳細表示	PRI-000001939	18:00 - 20:00	1	承認待	社内申請	KDDI 太郎

設備予約

社内申請

氏名 KDDI 太郎

ユーザ名 XXXXXXXXXX

メール XXXXXXXXXX

0000ビル

承認 差戻

PRI-000001939

予約設備 貸出用△△△△

予約状態 **承認待**

利用日 2016/05/25

予約時間 18:00 - 20:00

数量 1

利用サイト 0000ビル

作業内容 GGG懇親会のため

入館申請